

第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトの進捗について

1) 環境課題への対応

① 温暖化対策 みんなで見える化

ア. LED照明器具助成制度

【現在までの取組状況】

- ・ 申請開始：9月 1日
- ・ 受付終了：9月 28日
- ・ 申請件数：購入助成 129件、工事助成 56件（内、共用部分 15件）
- ・ 市内の電気店や家電量販店等にポスター等を設置

【取組の評価、効果】

- ・ 助成制度が広く周知、浸透され、かつ、市民の需要に合致、利用された。

【今後の方向性】

- ・ 二酸化炭素排出量の削減効果を杉の木換算で算出⇒HPに公表予定
- ・ 制度設計の見直し（短期受付終了の改善、交換前対象照明機器の種類の拡大等）

イ. 環境家計簿

【現在までの取組状況】

- ・ 対象：全市立小学校5年生
- ・ 期間：夏休み期間中の任意の1週間

【取組の評価、効果】

- ・ 身近なところで地球温暖化対策を行うことができることを児童に意識啓発できた。

【今後の方向性】

- ・ 年内を目途に二酸化炭素排出量の削減効果（杉の木換算）を各学校に報告
⇒各クラスの授業での活用を依頼
- ・ 学校別二酸化炭素排出量の削減効果（杉の木換算）をHP等で公開予定

ウ. クールシェア

【現在までの取組状況】

- ・ 講座のない日にエコプラザ西東京の多目的スペースを小学生の自習スペースとして開放

【取組の評価・効果】

- ・ 全16日間で延べ37人の利用
- ・ 利用者の各家庭でのエアコンの使用機会を軽減

【今後の方向性】

- ・ 周知の対象を拡大し、利用者増を図る。

エ. 打ち水「～いっせいで打ち水大作戦 2020の夏～」(東京都連携事業)

【現在までの取組状況】

- ・HP、市内掲示板及び庁内掲示板等による実施の呼びかけ
- ・打ち水グッズ（東京都提供の打ち水手拭い）の配布
- ・エコプラザ西東京で実施（夏休み講座に参加した小学生、職員）
- ・マンション自治会、児童館、学童クラブ等で実施
- ・実施状況をHP等に掲載、周知

【取組みの評価、効果】

- ・省エネやヒートアイランド対策につながる打ち水の効果、重要性等を広く周知できた。

【今後の方向性】

- ・来夏も東京都との連携による打ち水を実施
- ・町内会やマンション自治会等への働きかけを実施



環境保全課職員



学童クラブ

オ. 第2回「みい電」の周知「みんなでいっしょに自然の電気(通称:みい電)」(東京都事業)

【現在までの取組状況】

- ・市報、HP及び市内掲示板等で周知
- ・東京都と連携し、西東京市からのメッセージを掲載したチラシを市内の一部地域に配布

【取組の評価、効果】

- ・再生可能エネルギーに関する有益な情報を市民や事業者へ普及啓発できた。

【今後の方向性】

- ・第3回「みい電」（今後東京都実施予定）の周知
- ・第3回「みい電」のチラシ（西東京市からのメッセージを掲載）を市内の他の地域に配布予定

②河川清掃でコベネフィット

保谷高校との連携事業

【現在までの取組状況】

◎石神井川の清掃活動

- ・実施日：10月3日(土)
- ・参加者：保谷高校教員3名、生徒約50名、環境保全課職員2名
- ・集めたゴミを保谷高校に運び、生徒が分別した後に処分

【取組の評価、効果】

- ・約77kgのごみを収集（1時間半の活動）
- ・生徒達が石神井川の現状と継続した清掃活動の重要性を認識できた。

【今後の方向性】

- ・次回3月頃清掃活動予定
- ・生徒による1年間の活動成果の記事をエコ羅針盤3月号に掲載予定



③マイバッグでお買い物

ア. レジ袋有料化の周知

【現在までの取組状況】

- ・市報、HP及び市内掲示板等で有料化・プラスチック問題の周知、エコバッグ持参の意識啓発
- ・市民・職員へエコバッグ携帯を呼びかける市内放送実施
- ・エコプラザ西東京主催事業での意識啓発

【取組の評価、効果】

- ・レジ袋有料化とプラスチック問題について周知・意識啓発できた。

【今後の方向性】

- ・引き続き、あらゆる機会を通じてエコバック持参などを意識啓発
⇒市民・職員のレジ袋の使用抑制に繋げる。

イ. エコバックドライブの実施

【現在までの取組状況】

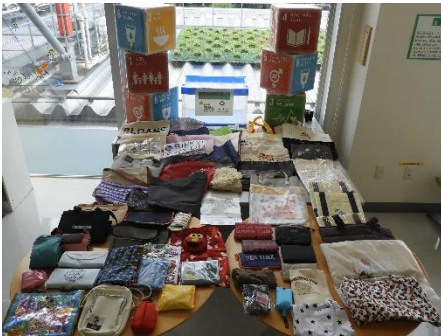
- ・全職員から不要となったエコバッグを環境保全課で収集
- ・必要とする職員に配布

【取組の評価、効果】

- ・合計76個のエコバッグの提供、必要とする職員にエコバッグを配布できた。
- ・エコバックの有効利用ができた。

【今後の方向性】

- ・エコバッグの残分を環境フェスティバル等のイベント時に参加者に配布予定



ウ. 「西東京市推奨エコバッグ」の販売あっせん

【現在までの取組状況】

- ・クールチョイスとまちテナのロゴが入った「西東京市推奨エコバッグ」をまちテナ等と連携して作成
- ・全職員へ周知、販売あっせん

【取組みの評価、効果】

- ・購入希望多数⇒庁内一丸となってエコバック持参の機運醸成

【今後の方向性】

- ・引き続き職員へ購入の呼びかけを行う。
- ・マイバック携帯の習慣化の検証



001 ブルー



002 レッド

④みんなで外来種駆除

いこいの森公園のワルナスビ駆除活動

【現在までの取組状況】

- ・実施日：9月15日（火）
- ・参加者：市民団体の代表、憩いの森公園指定管理者の職員2名、環境保全課職員2名

【取組みの評価、効果】

- ・ポリ袋5～6袋ほどのワルナスビを駆除（1時間ほどの活動）

【今後の方向性】

- ・引き続き、いこいの森公園のワルナスビ駆除活動に参加予定
- ・市民が参加できる活動再開後⇒市報やホームページ等で多くの市民の参加を啓発予定
- ・外来種による影響等に関する講座の開催を検討



⑤まちなかの自然に学ぶ

市民団体との連携事業（ムラサキソウの栽培・活用）

【現在までの取組状況】

- ・環境保全課と「西東京紫草友の会」による協働事業の覚書を締結（締結日：2月20日）
- ・400粒ほどの種撒き（2月20日）

【取組の評価、効果】

- ・順調に成長し、種の約7%が発芽。10鉢（2～3%）ほど鉢に移すことができた。
- ・鉢での生育は、高さ50cmほどに成長
- ・夏に白い花が開花、その後合計17個の種を収穫

【今後の方向性】

- ・令和3年2月に新たに種撒き⇒増産目指す。
- ・2年目となる現在の優良株の成長度合いを観察⇒紫根染め講座の開催を目指す。
- ・栽培中のムラサキソウについて、HP等で周知啓発する。



2)活動主体の支援・育成

①面的情報発信、②点的情報発信

【現在までの取組】

- ・エコプラザ西東京の環境学習コーナーに作品展示用ケースを設置、市民団体制作作品の展示を充実

【取組みの評価、効果】

- ・市民団体の活動内容の情報発信の場を広げた。

【今後の方向性】

- ・現在進めている取組について、活動の様子や成果をHPで情報発信予定(保谷高校・「紫草友の会」との連携事業等)
- ・HPでエコプラザ西東京の登録団体の紹介を拡充予定
⇒環境学習コーナー展示作品の写真掲載、登録団体ホームページへのリンク設定、登録団体の活動内容公開など

③環境づくり

【現在までの取組】

- ・エコプラザ西東京の感染状況に応じた運用

【取組みの評価、効果】

- ・エコプラザ西東京の施設利用…感染症対策を万全に行いつつ、徐々に利用制限緩和
⇒利用しやすい環境及び、安心して利用できる環境を提供できた。

【今後の方向性】

- ・引き続き、貸館に関する新しい生活様式における基準を適宜見直し
⇒コロナ禍でも安心・安全に施設利用できる環境づくりを行う。
- ・イベント再開後は、可能な限り、市と団体でイベントの共同開催を検討
⇒市民が安心して参加できる環境づくりを行う。